

## 学校と地域の連携・協働体制推進フォーラム 開催報告 概要

子どもや学校が抱える課題の解決、未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、社会総掛かりでの教育の実現が不可欠です。今後、地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく「地域学校協働活動」の積極的な推進が求められています。コミュニティ・スクールの仕組みの導入も含め、地域と学校との組織的・継続的な連携・協働体制の構築を一層推進するため、現状における課題や今後の方向性等について関係者がともに考える機会として、開催しました。

■日時：6月24日（金） 13：15～16：45

■会場：滋賀県庁新館 7階 大会議室

■内容：

当日は、地域で子どもを育む教育支援活動を実施する組織のコーディネーターや学校運営協議会委員、市町の事業担当者、学校教職員、そして、地域住民の皆様など、62名の御参加をいただきました。

### （1）講演（話題整理）（13：25～13：05）

NPO法人CASN 理事長 谷口久美子 氏より、「子ども食堂」「トワイライトステイ」等の実施の際、現場の課題や教育と福祉の連携の重要性など日頃お感じになっておられる現場の様子をお話いただき、それを受け、びわこ学院大学 准教授 高木和久 氏がその内容を一般化しつつ、現場と行政、学校との連携の必要性についてお話いただきました。

実際に事業を展開する際の課題や、今後どのような連携協働が必要かについて考えるよい機会となりました。



### ○参加者の声（抜粋）

- ・子どもを真ん中に据えた“つながる”取組へ向け、組織や仕組みをうまく作り上げていくことが大切であると認識できた。
- ・地域の組織間で、目的や目指す姿の共有化、理念の統一等、「子どもを中心に据えた、子どものためにすべきこと」において、歩調が一致していない現状を知った。
- ・地域の既存の団体とつながり、活かすというのは正にこれから必要になる視点である。しかし、この方々に理解を得るのは簡単ではないであろうが、時間はかかるとしても一歩一歩進めることの大切さを教えていただいた。

## (2) 講演 (14:10~15:30)

話題整理の講演に続いて、「地域学校協働本部を見据えた、複数事業の総合化・ネットワーク化」というテーマで、高木和久先生より講演をしていただきました。

「地域の子ども活動の弱点」やこれからの国の施策の動向、各事業間の連携の重要性、自主財源の確保の仕方などについて詳しくお話しいただきました。



### ○参加者の声 (抜粋)

- ・目標設定の大切さを実感した。現状を分析するための情報収集や調査の実行や判断などマネジメントの大切さを学んだ。
- ・地域の実情に応じて、最も必要な子どもの姿や方向性を共有しながら役割分担して進めることの大切さを再確認できた。子どもたちをお客さんにしない地域行事や各活動の見直しも大切だと痛感した。
- ・学校と地域の連携の大事さがよくわかった。子どもを主役に据えることの大切さを意識した取組を地域でも展開していきたい。
- ・「どのような子どもを育てたいのか目標をしっかりと持ち、どのような事業が効果的なのかしっかりと見定めないと、汗をかいて疲れるだけ」という先生の言葉は、まさにそうだと思った。学校の自己満足にならず、地域の課題を共有しなければならないと改めて思った。

## (3) 情報交換会 (15:40~16:30)

講演の後、各市町から御参加いただいた方々が、グループに分かれて、「各市町における現状と課題について」というテーマで本日の講演の内容も含め、情報交換をしていただきました。

各参加者からは、日頃感じておられる課題や市町の現状について、活発な意見を出し合っていました。



### ○参加者の声（抜粋）

- ・ボランティアから、“協働”へ意識を高めておられる方は、子どもの変容を目の当たりにした経験を持っておられる方々であることが分かった。
- ・様々な立場の方から、話を伺うことができ、今後の活動のヒント・アイデアをたくさん得ることができた。
- ・コーディネートの方には様々な形があることがわかりとても参考になった。
- ・小中高生が、夏休みの絵画や冬休みの書道でつながっている地域の取組の話聞いて素晴らしいと思った。
- ・本音で話し合える場となった。懇親も深まり、お互い明日から更に活動に専念していこうという気持ちになった。
- ・ボランティアの取組→学校支援→コミュニティ・スクールへと発展していくイメージを持つことができた。